

遺伝子組み換え食品とは？

帯刀益夫（東北大学名誉教授）

第11回 最終回 シリーズのまとめ

これまで、人類は何を食べ、進化してきたか、狩猟採集民から作物の開発による農業へ、そして現代の品種改良としてのGM作物について解説してきましたが、紙面の都合で触れなかったGM食品に関する最近のニュースから、3つの話題を簡潔に追加しておきます。

(1) 昨年末、米国FDA(食品医薬品局)が、GM動物食品としてはじめてとなる、成長スピードを早めた鮭について、環境への影響はない、食品としても、安全だとして許可をしました。

生産者は消費者の理解を得ながら増産を目指すとしています。

(2) 「ゲノム編集」という新しい遺伝子組み換え技術が開発され、ヒトの遺伝子病の克服に期待がもたれていました。この技術は、目的とする遺伝子のみを染色体上で置き換えることができ、余分な遺伝子が入り込まないので、遺伝子操作の安全性が格段に向かい、GM作物やGM家畜の作出への利用も始まっています。米国では、この手法で作製した新品種は、GM作物の安全審査の対象にはならないという見解も出始めています。

(3) 遺伝子組換え反対派のウェブサイトなどで広く引用されている、GM作物を食べたて育った動物に有害な影響が出ているとする、ナポリ大学(イタリア)のある研究室の論文数本がデータ加工の疑いにより学内調査を受け、不正



な画像改変などが見つかり、そのうちの1本は、著者がすでに取り下げたということ、論文はねつ造であったと報じられています。

これまでの内容を含めて、皆さんはGM作物やGM食品が安全なものだと納得していただけたでしょうか。おそらくまだ不安だという気持ちを持ちしよくできない方も多いと思います。

自分だけでは守れない 食の安全

最近では、福島原発事故後の政府機関や科学者の対応が混乱したため、一般の人が低線量放射線被ばくのリスクに過敏になりすぎてしまいました。

食品安全委員会は、原発事故の約1年後から施行された新しい基準値では、それまで

の年間5mSvから、年間1mSvに引き下げました。

食品安全委員会の基準値を厳しくしたことは、消費者の安心感を得るために効果的であった面もありますが、一方で放射線に対して過剰反応を誘発した可能性もあり「福島」の農産物は基準値を満たしていても敬遠されるというような風評被害も多くありました。

現代社会では、ほとんどの人は、自らが生産した食材を食べるといったことはありません。農産物も野菜、穀類、果物を直接食べる場合もあれば、加工食品という形となり、生産者、加工業者、流通販売業者を経ています。

そこで、山菜やキノコ採りと違い、その安全性について自己責任で対応することはできず、ほとんどの食品は何らかの形で行政による安全のお墨付きを受けたものを信じて食べるようになっていきます。

しかし、突発的にリスク事象が起きることがあり、科学

者や行政の公式見解が信用されなくなり、消費者の不安は増大し、一般に、「安全性」の問題は、科学者や行政がお墨付きを与えても、消費者はそれだけで安心感を持ってない現状があります。

そこで、これからは、科学的根拠に基づいた正しい食品の安全について、科学者や行政と消費者との間でお互いに信頼し、理解しあえるコミュニケーションの体制をどのように構築してゆかか、日本だけでなく世界的な課題となっています。

今号で帯刀先生の「遺伝子組み換え食品とは？」は終了となります。長い間ありがとうございました。

次回から「池田町の歴史探訪」をお届けする予定です。ご期待ください。



国民生活が何より大事

消費税10%とTPPは撤回を！

部内資料
発行責任者 太田 勲 (62-5727)
議員連絡先 うすい孝彦 (62-5093)
服部 久子 (62-4357)
編集責任者 山本 久子 (61-1066)

174号
2016年4月

日本共産党
池田ファンクラブ・ニュース
あした天気にな〜れ



国会で質問する小池議員

安倍首相は、「リーマンショック、あるいは東日本大震災級の出来事がない限り、来年4月から消費税10%引き上げを実施する」と公言しています。

しかし、2年前に8%に引き上げて以来、個人消費は冷え込み続けています。また勤労者の実質世帯収入は5%、34万円も低下し、私たちの暮らしを直撃しています。

共産党の小池副委員長(現書記局長)は参議院予算委員会「3年間で5%から10%引き上げると、国民の負担増はどの位になるか」と質問しました。

財務大臣は「税率1%分は2.7兆円、1世帯当たり18万4千円、1人当たり8万円となる」と回答しました。

軽減税率を実施すると言ってもまやかであり、10%増税は暮らしも経済も壊すことに外なりません。

また、今国会でTPP承認(案)の審議が行われていますが、首相も石原担当大臣も「交渉は結果がすべてだ」と

交渉内容の情報開示を否定しています。

しぶしぶ出した資料は全面黒塗りで、国会と国民を全くバカにしたものです。

重要5品目の国会決議はどうなるのか・担当大臣だった甘利議員は国会に出ないままだが許されるのか・西川特別委員長の不可解な議事運営、等問題は山積みです。

国民生活に多大な影響があるTPPは、国民が納得しない限りは撤回しかありません。

コラム 有明

ファンクラブ恒例となり、5月29日(日)予定で役員が準備を進めています。

今年には日本海に行き新鮮な海の幸と温泉を堪能し、糸魚川近くの「フォッサマグナミュージアム」を見学します。▼「フォッサマグナ」とはラテン語の「大きな溝」という意味で、ドイツの地質家ナウマン博士が命名しました。かつて日本列島を二分していた巨大な溝で、西縁は糸魚川―静岡構造線、東縁は柏崎から千葉に至っています。▼ミュージアムがこの場所に造られたのは、糸静構造線の断層露頭(地表で確認できる断面)があるからであり、池田町も通る構造線の全容が分かるように、昨年3月リニューアルしました。ヒスイ、化石、鉱物標本、地震と火山など映像も含めて見学できます。▼糸魚川の市振海岸では、今でもヒスイの原石が見つっています。みんなで海岸を散歩してみよう、運が良ければ拾えるかもしれません。楽しみです。またジオパークは「大地の公園」で地形や地質など地球の成り立ちを観察できる所を言います。

今年も実施します

マイクロバスで行く 春の糸魚川とグルメ、温泉の旅

日本初の世界ユネスコジオパークに登録された糸魚川ジオパークと笹倉温泉を訪ねます

ジオパークを見学しながら海の幸と春の温泉を堪能しましょう。

日時 5月29日(日)
目的地 糸魚川ジオパークと笹倉温泉
時間 8時出発(池田町役場) 17時帰着
参加費 2500円(入場料含) 昼食代と入浴料は自己負担
定員 25名(先着順)

参加を希望する方はファンクラブ役員までご連絡ください。